だいこん

No.316
立教 181 年 2 月号
2 月 4 日　発行
天理教練馬支部
発行責任者　小島宣雅
編集者　山口　明

巻頭言

練馬支部　一組　開和分教会　柄澤　政儀

立教百八十一年となった今日、私が教会長に任命され四十年になった。今、道中を振り返ると波乱に満ちていたと感じる。

四十年前、私は教会長の立場になったが、化学系の仕事もしており、その仕事の関係で毎月の様に台湾へ足を運んでいた。五年間は台湾の友人に教会長であることは一切話していなかった。しかし、教祖百年祭へ向けて三年千日から台湾の友人達へ天理教についての話をするようになった。最初は仕事で一番行っていた台北のみでの布教活動だったが、仕事を通して台湾の色々なところに友人が出来ていた為、台中・宜蘭・花蓮・高雄へと広げていった。

教祖百年祭には初席者が百名以上となり、その内の五十名の初席者は錦江大教会へお供えさせていただいた。親孝行のつもりでお供えさせて頂いたが、今になって思うと、その五十名の初席者の丹精が出来ず惜しかったと感じる。だが、五年後にはよふぼくが二十一人となり、台北に布教所を設立することもできた。また講社は四ケ所あり、今は年に一回日本から台湾へ行って、一緒に講社祭りに行っている。

台湾布教をしていて感じたことは海外だけでは無く、日本国内の信者さんの丹精も大事であるということだ。国内では一世代や二世代で信仰が途絶えてしまうという事がおしなべてある。若い人達は学業や仕事が忙しく、天理教と関わることが少ないからだ。そこで一つ改革をした。講社祭りを夜と土日に変え、一家全員でおつとめをできるようにしたのだ。今までは退職された方とおつとめするだけだったが、幅広い世代の方と共におつとめ、会食、練り合いをし、意見交換をするようになった。この改革から五年経つと次の世代から初席者が出るようになり、十年経つと三代目の信仰者がよふぼくとなり修養科へ送り出すことができた。現在は四代目の方も一緒に家族全体でおつとめをし歓談をするようになってる。四代目の方は十人いて、一人は別席運び中であるが、それ以外の方は全員よふぼくとなった。

また、私の妻の両親は上海の人で、天理教への信仰は全くなかった。しかし孫の顔を見てから、三ケ月間日本で観光をした。その中でおぢばを案内した時、天理教の教えに興味を持ち、帰る時にはよふぼくになって帰国した。その後両親の持病が良くなった。十年後には神様を祀らせて欲しいとお願いがあり、今では講社祭りをしている。その後は毎年上海から別席者が訪れている。

そして、昨年は当教会設立八十周年にあたり、心定めを三倍に決めた。無事に十人の初席者のご守護を頂き、心定めを完遂することが出来た。

私が四十年間教会長を務めて、一番実感していることは「人を助けて我が身助かる」ということだ。これは天理教の活動とし人助けをするだけでなく、天理教以外の仕事・生活に於いても言えることである。自分の勝手な解釈ではなく、「教え」「道」という尺度を持って、何事も通ることが重要だ。

支部新年総会

一月三十一日（水）午前十時より都大教会にて、新年のおつとめ総会をつとめさせて頂きました。

座りづとめ・十二下りのおつとめを四交代でつとめさせていただきました。

支部長の挨拶、各部各会の連絡の後、記念講演に、東京教区布教部長、本理世大教会長、入江和徳先生をお招きし、縦の伝道について諄々とお話を頂きました。

次の塚へ向かって、なお一層の支部活動の躍進を誓い合わせて頂きました。

（参加者　少年会員五名を含む　八十名）

天理教基礎講座　東京会場

今月の予定

２月　１１日（日）【昼間】午後１時３０分～３時（午後１時より受付）

受講対象　１５歳以上　　受講御供　５００円

会場　　東京教務支庁　豊島区駒込７－１－４　０３－３９１７－０２４７

内容　　ビデオ①「天理教－陽気ぐらしの道」講話Ⅰ「かしもの・かりの」

ビデオ②「信仰のよろこび」　　講話Ⅱ「親神様・教祖・ぢば」

婦人会

◆一月十九日（金）、城道分教会で十時よりお助け勉強会がありました。九組のお話当番で三人の先生方のおたすけのお話を頂きました。そのあと、歓談しながら和やかな初例会となりました。
（参加者　十名）

◆二月十四日（水）十時より本芝和分教会において、おてふりの基本勉強会をさせて頂きます。
是非ご参加下さいますようお願い致します。

ひのきしん

◆三月四日（日）、今年初めてのひのきしんを光が丘公園にて行います。是非ご参加下さい。

にをいがけ・例会

◆一月二十八日（日）午前十時より、都光分教会にてにをいがけをつとめさせて頂きました。
雪が残る寒い中でしたが、本年、初めてのにをいがけを勇んでつとめさせて頂きました。
（参加者　七名）

◆二月二十八日（水）は、本草分教会の予定でしたが、都合により都光分教会でつとめさせて頂きます。

青年会

◆天理教青年会創立百周年に向かって、東京教区青年会での都内「三百六十五日毎日実動」は、十月三十一日をもって無事完遂いたしました。
練馬支部では、引き続き実施致しますので、是非ご参加下さい。
※今後の予定
三月二日（金）午後七時より
練馬駅南口

◆創立百周年記念
第九十四回天理教青年会総会
立教百八十一年
十月二十八日（日）

時報手配り

◆東京教区
手配りひのきしん者の集い
下記、チラシの内容で手配りひのきしん者の集いが東京教務支庁で開催されます。練馬支部内の時報手配りに携わる方はどなたでも結構ですので、お誘い合わせの上、大勢ご参加下さい。
（配布済みのチラシに申し込み用紙がついています。）

東京教区　手配りひのきしん者の集い

日頃は天理時報手配りひのきしんの上に、お力添えを賜り厚く御礼申し上げます。さて、天理時報手配りひのきしんが全教展開されてから10年を迎えました。これは偏に、ひのきしんに携わって下さった皆様方の、ご尽力の賜物と拝察申し上げます。御本部秋季大祭の前日には、おぢばで「天理時報手配り10年　ひのきしん者感謝の集い」が行われ、真柱様から、天理時報手配りひのきしんに携わる全員におことばを戴きました。

東京教区も、今まで同様、今後も勇んで手配りひのきしんを努めさせて頂く上から「東京教区　手配りひのきしん者の集い」を開催致します。ひのきしん者、時報手配りに携わる皆様、どうか御参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

日時　　2018年（立教181年）2月12日（祝・月）10時30分開会
場所　　東京教務支庁
内容　　講話　　昼食　　お楽しみ抽選会　など
参加対象　手配りひのきしん者、手配りひのきしんにご賛同、応援して下さるひのきしん者のご家族、ひのきしん者の近隣にお住いの教友（１名まで）。

２月行事予定

日　時	行　事	会場	担当者
2月　5日（月）	教区ひのきしん	東京教務支庁	7組
❋ 2月　11日（日） 13：30より	天理教基礎講座	東京教務支庁 受講対象　15歳以上 受講御供　500円	
2月　12日(月､祝) 10：30より	手配りひのきしん者の集い	東京教務支庁	北府分教会 三澤敬一 3996-2292
❋ 2月　14日（水） 10：00より	婦人会例会 おてふり基本勉強会	本芝和分教会 石神井台3-27-14 3997-5424	本芝和分教会 白田まき子 3997-5424
❋ 2月　28日（水） 10：00より	支部にをいがけ	都光分教会 平和台2-4-2 3955-7626	小石川分教会 中村修一 3922-5913
❋ 2月　28日（水） 11：00より	支部例会	同　上	
❋ 3月　2日（金） 19：00より	青年会 ひのきしん、路傍講演、他	練馬駅交番向かい （南口時計台）	久保　耕平 070-6632-2160
❋ 3月　4日（日） 10：00より	支部ひのきしん	光が丘公園	本草分教会 倉嶋孝明 090-4134-6605
3月　4日（日） 16：00より	幹事会	豊喜分教会 豊玉北4-21-19 3992-1095	
3月　5日（月）	教区ひのきしん	東京教務支庁	3組

❋印は、一般の方も是非ご参加下さい。

訃報

十二月二日　お出直し
本保大教会・崎新道分教会
二代会長夫人
小林正枝先生（九十二歳）

一月三十日　お出直し
淺草大教会・
神田川分教会長
山本義昭先生（七十九歳）

長年に亘り、お道の上に、また、支部活動の上にご尽力下さいまして、誠に有難うございました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

※本誌は、天理教ホームページの「信仰している方へ」の中の教区・支部情報ネットでご覧になれます。